

賛美

「いのちの光」

「私たちは一つ」

「Rise and Go」

「聖い心」

献金

牧会祈禱

主の祈り

聖書朗読 ヨハネ3章13節～15節 ノリコ・ペリー

メッセージ「受難節 見上げる十字架①」
関真士牧師

賛美 「傷跡」

頌栄 祝禱

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう

- 私たちは、受難節の時を過ごしています。今年受難節のテーマは「4つの十字架」です。『黙想のための冊子』が配布されています。
- 本日12:30pm 執事会があります。
- 毎週の礼拝で賛美する曲は、ウィークリーニュースから聴くことができます。どうぞ前もって賛美を覚えて、心からの賛美を主に捧げましょう。
- 今年も受難節の期間限定で、ZOOMによる学び会をします。第一回目は3月3日(金)7pmです。ZOOMのアドレスはウィークリーニュースでご案内します。または、関までご連絡ください。
- 3月11日(土)8am～12pm 教会大掃除があります。

献金



▼ケンタッキー州にあるアズベリー神学校のリバイバルには、いくつかの特徴がありますが、その特徴を挙げる前に、他の歴史上のリバイバルとの共通点を挙げたいと思います。

まずリバイバルを求める祈りがあったこと。それはそれだけ信仰的な危機を迎えていたということ。また深い悔い改めがあること。自分で気づけるレベルの罪ではなく、聖霊による認罪があること。このリバイバルを求める祈りと悔い改めは、どのリバイバルにも共通するものです。

そしてアズベリー神学校のリバイバルの特徴は、リバイバリストがいないことです。多くのリバイバルには、リバイバリストと呼ばれる特別なメッセンジャーやリーダーが起こされます。しかし、アズベリーのリバイバルには、そのようなリバイバリストがいません。

また、とても静かであること、つまり熱狂的ではないことが挙げられます。聖霊が特別に臨むのですから、熱狂的になり、興奮状態になるのは、ある意味で当然です。しかし、これまでのリバイバルでは、リバイバルの後の平凡で地道な信仰生活に戻るのが難しくなる傾向がありました。ある意味、リバイバルは非日常的な出来事ですから、それを経験すると日常では物足りなくなるとい事も起こってきます。

多くの方々が、このアズベリーリバイバルを注視し観察しています。しかし、何よりも大切なのは、リバイバルを起こすのは、主であるということです。私たちは、いつリバイバルが起こってもいいように、備えていることです。

関真士牧師

Sekishinji89@gmail.com

2022年度聖句

あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。
繰り返して言うが、喜びなさい。

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、
否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①イエスを嫌い、拒否すること、そんなことがあるのでしょうか。しかしイエスの時代のパリサイ人たちは、イエスを嫌い拒否しました。なぜ彼らは、そうしたのでしょうか。私たちも、どうなったら、パリサイ人になってしまうのでしょうか。

②青銅の蛇を仰ぎ見ると救われる。なぜ蛇なのでしょう。十字架のイエスを蛇のようにイメージするのは、あまりいい気持ちがありません。

③自分の内にある恐れは、全き愛によって締め出されているでしょうか。十字架の愛で満ちているでしょうか。それは、どのようにして分かるのでしょうか。

ヨハネの福音書 3章 13～15節

だれも天に上った者はいません。しかし、天から下って来た者、人の子は別です。モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。

ホノルルキリスト教会 2023年2月26日

週報



ホノルル キリスト教会

2207 OAHU AVENUE, HONOLULU, HI 96822

日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email : office@honoluluchristian.church



賛美の御言葉 詩篇 117篇 1～2節

すべての国々よ主をほめたたえよ。すべての国民よ主をほめ歌え。主の恵みは、私たちに大きい。主のまことは、とこしえまで。ハレルヤ。